学校番号	3008

令和８年度　数学科

教科	数学	科目	数学Ａ	単位数	２単位	年次	３年次
使用教科書	最新 数学Ａ(数研出版)						
副教材等	新課程 新高校の数学Ａ対応 ポイントノート数学Ａ(数研出版)						

１　担当者からのメッセージ（学習方法等）

・授業ではまず基礎の土台作りを大切にします。説明をしっかりと聞き、疑問はそのままにせず、授業担当者に積極的に質問するようにしてください。
・数学においては、途中式や考え方など答えに至るプロセスが重要です。読み手に伝えることを意識して解答を作成してください。
・ノートは授業中の板書を自分なりに再現することを最低限とし、口頭で伝えたことや、気付いたこと、自分なりの考えなど追記していくことで評価が高まります。ノートは各学期末に集めます。
・授業内で自分の解答や考え方を発表したり、他者を講評したりする機会があります。
・課題に関しては、期限内に提出することが大前提で、最後までやりきる気持ちで取り組んでください。既習事項の復習を兼ねることができますので、授業ノートを参考にしながら、学力の定着をめざしましょう。

２　学習の到達目標

・学期ごとで、集合と命題、場合の数と確率、図形の性質について理解し、基礎的な知識と技能の習得をめざす。
・事象を数学的に捉え考察する力を養うとともに、答えに到達するまでの過程を書けるようにする。
・数学がどのように役立てられているのかを認識し、自分なりに活用する姿勢を身につけていきます。

３　評価の観点及びその趣旨

観点	a:知識・技能	b:思考・判断・表現	c:主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	集合と命題・場合の数と確率・図形の性質に関する基本的な概念と原理・法則などを体系的に理解し、基礎的な知識を身につけている。 事象を数学的に捉えて処理する方法と、基礎的な知識を発展的に活用する技能を身につけている。	集合と命題、場合の数と確率、図形の性質に関する既知の知識・技能を活用して思考を巡らせ、未知の問題に対応できる思考力をもつ。 事象を数学的に表現し、問題の意図を汲み取って適切に判断する能力を身につけている。	集合と命題、場合の数と確率、図形の性質における考え方に関心をもつとともに、それを主体的に活用し、問題解決に積極的に取り組む姿勢がある。 問題解決の過程で、他者を理解し協力する態度が見受けられる。 学習過程を振り返り、自己評価及び改善策を考え実行しようとする。

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4　学習の活動

学期	単元名	学習内容	単元（題材）の評価規準	評価方法		
				知(a)	思(b)	主(c)
1学期	集合と命題	・集合と部分集合 ・共通部分・和集合・補集合 ・命題と集合	a:集合の共通部分や和集合の要素を求めることができる。命題を理解し、逆・裏・対偶などを導くことができる。 b:ベン図で集合を表現できる。 c:日常的なことがらについて集合を用いて数学的に捉えようとする。	定期テスト 確認テスト 課題	定期テスト 課題 観察	 課題 ノート 作成
	場合の数	・集合の要素の個数 ・樹形図・和の法則 ・積の法則	a:用語・記号・公式を理解し、利用することができる。 b:ベン図で集合を図示し、要素の個数を考察することができる。 c:樹形図を用いて積の法則から順列を求める式を導こうとする。	定期テスト 確認テスト 課題	定期テスト 課題 観察	 課題 ノート 作成
2学期	場合の数	・順列 ・円順列と重複順列 ・組合せ	a:文章で表された場合の数を、順列や組合せの考えを利用して適切に求めることができる。 b:順列と組合せの違いを判断し、問題に応じて活用することができる。 c:順列と組合せに興味を持つ。	定期テスト 確認テスト 課題	定期テスト 課題 観察	 課題 ノート 作成
	確率	・確率の意味 ・確率の計算 ・確率の基本性質 ・和事象の確率 ・余事象の確率 ・独立な試行の確率 ・反復試行の確率 ・条件付き確率	a:与えられた問題から状況を整理し、適切な計算式を用いて確率を求めることができる。確率の意味、試行や事象の定義を理解し、確率の求め方が分かる。 b:不確定な事象について、同様に確からしいという概念に基づいて数量的に捉えることができる。また独立試行・条件付き確率などを理解することができる。 c:サイコロを投げるなどの実験を通して、統計的確率と数学的確率の違いに興味・関心を持つ。また独立試行・反復試行などの確率に対して、興味を持って検証しようとする。	定期テスト 確認テスト 課題	定期テスト 課題 観察	 課題 ノート 作成

3学期	三角形・円の性質	・角と二等分線と比 ・三角形の外心・内心・重心 ・円周角の定理 ・円と接線 ・方べきの定理 ・2つの円	a:角と二等分線の比が計算できる。三角形の外心・内心・重心の性質及び円の性質を理解している。 b:三角形の外心・内心・重心の性質および円の性質を利用して、角や辺の長さを求める方法を理解している。 c:各定理に関心を持ち、積極的に活用しようとする。	定期テスト 確認テスト 課題	定期テスト 課題 観察	課題 ノート作成
	空間図形	・空間における直線と平面 ・多面体	a:空間における直線や平面を理解する。 b:空間図形に関して辺の長さや平行関係などを理解する。 c:空間図形や多面体に興味・関心を持つ。	定期テスト 確認テスト 課題	定期テスト 課題 観察	課題 ノート作成

※　表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度